



地域と共にある学校づくりをめざして

宝江小コミュニティ・スクールだより

令和元年5月13日 第1号 登米市立宝江小学校

宝江小学校コミュニティ・スクールについて



(写真：春の交通安全教室)

新緑の候、保護者、宝江地区の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対しまして、多大なるご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、本校は昨年度まで学校運営協議会準備委員会として、準備をしてまいりましたが、今年度より登米市指定のコミュニティ・スクール（CS）〈学校運営協議会を設置する学校〉としてスタートいたしました。保護者や地域の皆さんに、コミュニティ・スクールとはどのようなもので何をするのか、学校運営協議会の報告等、「コミュニティ・スクールだより」をとおして、お伝えしていきたいと思っております。今後も尚一層の、本校へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

・コミュニティ・スクールとは・・・

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長をささえていく「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みです。地域に開かれ、地域に支えられ、信頼される学校づくりを進めようとするものです。

・コミュニティ・スクールとは、どのようなことをするのか・・・

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民の代表、諸施設・諸団体等代表、宝江小学校長及び教職員で構成される学校運営協議会が設けられます。学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出してもらったりしながら進めていきます。保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させながら、学校・保護者・地域の三者で子どもたちの成長に必要なことを考え、それに基づいた活動を行っていきます。

